

授業科目	理学療法概論	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	小塚直樹 (保健医療学研究棟 E415 号) e-mail : kozuka@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	田代英之、柿澤雅史、菅野敦哉、鎌塚香央理、藤澤真博、他理学療法学科教員		
概要	これから理学療法を志す学生達と共に理学療法の理念、倫理、歴史を学びつつ、医療人としての理学療法士はどのような人間像が望まれているのか、社会が我々に何を期待しているのかなどを考える。また、医学的リハビリテーションの中で果たすべき役割を自覚し、リハビリテーションに関与する他の職種、職域を理解しリハビリテーションチームの円滑な運営方法について討議する。専門教員が理学療法の面白さについて講義する。		
到達目標	将来、自分が理学療法士になった時の姿を述べるができる。 理学療法士助手の体験をし、その報告をすることができる。		
関連科目	リハビリテーション概論・臨床実習 1		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	筆記試験	70%	
	レポート	30%	
教科書	①細田多穂(監) [2017 年] 「理学療法概論テキスト改訂第 3 版」 南江堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	医療施設(附属病院)での体験を含むので、個人情報の取り扱いと体調管理に十分留意すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス・アイスブレイク・自己紹介の後、各自の志望動機を発表する。	事前：自己紹介等の準備	討論	小塚・田代
2	理学療法って何だろう(歴史、定義、各種技術など)? 理学療法の役割(臨床や研究の現状)	事前：教科書該当部分の抄読 事後：講義抗議内容の要約作成	講義	小塚
3	理学療法士に関する法律 理学療法士に求められる使命、倫理	事前：教科書該当部分の抄読 事後：講義抗議内容の要約作成	〃	小塚・田代
4	理学療法士の活躍の場(医療の現場、保健福祉の現場、教育研究の現場、スポーツの現場)	事前：教科書該当部分の抄読 事後：講義抗議内容の要約作成	〃	小塚
5	専門領域別理学療法業務の理解(1)	事前：なし 事後：講義内容の要約作成	〃	理学療法 学科教員
6	専門領域別理学療法業務の理解(2)	事前：なし 事後：講義内容の要約作成	〃	〃
7	専門領域別理学療法業務の理解(3)	事前：なし 事後：講義内容の要約作成	〃	〃
8	専門領域別理学療法業務の理解(4)	事前：なし 事後：講義内容の要約作成	〃	〃
9	札幌医科大学附属病院での理学療法士体験のためのガイダンス 個人情報の取り扱いに関する説明	事前：なし 事後：配付資料の整理	〃	小塚・田代
10	附属病院での理学療法士助手の体験(A グループ) 理学療法対象疾患の学習(B, C, D グループ)	事前：総合リハビリテーションの概観 事後：各種資料の整理	演習・ グループ	〃

			ワーク	
11	附属病院での理学療法士助手の体験(Bグループ) 理学療法対象疾患の学習(A, C, Dグループ)	事前：総合リハビリテーションの概観 事後：各種資料の整理	〃	〃
12	附属病院での理学療法士助手の体験(Cグループ) 理学療法対象疾患の学習(A, B, Dグループ)	事前：総合リハビリテーションの概観 事後：各種資料の整理	〃	〃
13	附属病院での理学療法士助手の体験(Dグループ) 理学療法対象疾患の学習(A, B, Cグループ)	事前：総合リハビリテーションの概観 事後：各種資料の整理	〃	〃
14	理学療法士体験の報告、その共有と討論(1)	事前：体験内容の資料作成	討論	〃
15	理学療法士体験の報告、その共有と討論(2)	事後：討論内容の要約作成	〃	〃